

昭和音楽大学同侪会 決算・予算報告

令和4年度 決算

自 令和4年4月1日
至 令和5年3月31日
(単位:円)

収入の部	予算	決算	差異
会費収入	10,752,000	10,752,000	0
事業収入	740,000	939,996	199,996
記念演奏会収入	0	0	0
受取利息収入	2,000	626	▲ 1,374
前年度繰越金	46,968,986	46,968,986	0
その他	0	72,600	72,600
収入の部 合計	58,462,986	58,734,208	271,222

支出の部	予算	決算	差異
主・共催事業経費(注)	5,890,000	6,424,413	534,413
新規事業費	1,000,000	0	▲ 1,000,000
記念演奏会経費	0	0	0
支部活動助成金	500,000	499,255	▲ 745
同侪会報制作費	1,712,000	1,523,952	▲ 188,048
支部出向経費	100,000	35,820	▲ 64,180
総合連絡会経費	0	886,070	886,070
業務委託費	2,500,000	2,772,000	272,000
本部事務消耗品費	1,064,000	916,615	▲ 147,385
奨学助成金	1,300,000	1,400,000	100,000
慶弔費(含卒業祝い)	250,000	86,500	▲ 233,500
法人税等	540,040	70,000	▲ 470,040
次年度繰越金	43,606,946	44,119,583	582,637
支出の部 合計	58,462,986	58,734,208	271,222

(注)本部主催事業経費に加え、学食100円朝食・200円夕食支援(約280万円)も計上されています。
(千円単位四捨五入)

令和5年度 予算

自 令和5年4月1日
至 令和6年3月31日
(単位:円)

収入の部	予算
会費収入	11,620,000
事業収入	1,000,000
記念演奏会収入	200,000
受取利息収入	1,000
その他	0
前年度繰越額	44,119,583
収入の部 合計	56,940,583

支出の部	予算
主・共催事業経費(注)	6,625,000
新規事業費	1,000,000
記念演奏会経費	1,200,000
支部活動助成金	500,000
同侪会報制作費	1,542,000
支部出向経費	40,000
総合連絡会経費	892,000
業務委託費	2,780,000
本部事務消耗品費	974,000
奨学助成金	1,400,000
慶弔費(含卒業祝い)	200,000
法人税等	70,000
次年度繰越金	39,717,583
支出の部 合計	56,940,583

(注)本部主催事業経費に加え、学食100円朝食・200円夕食支援(約280万円)も計上されています。
(千円単位四捨五入)

同侪会組織

会 長	八尋 久仁代(短大5期)	
名 誉 会 長	梁瀬 進(学長)	
顧 問	下八川 共祐(理事長)	
監 事	黒田 隆(短大2期)	的場 辰朗(短大3期)
幹 事	中村 佳子(声専卒)	山館 冬樹(声専修)
	川原 比登美(短大20期)	宮下 典子(学部2期)
	広田 和加子(学部3期)	松島 秀幸(学部3期)
	飯田 佐恵(学部5期)	福本 信太郎(学部7期)
	藤原 海考(学部10期)	廣田 美穂(学部12期)
	横澤田 朋美(学部12期)	由雄 正恒(学部12期)
	黒田 晋平(学部15期)	西海 幹樹(学部15期)
	吉田 健一郎(学部20期)	山崎 理紗(学部25期)
	萩本 佳希(学部26期)	森 篤史(院5期)
	後藤 正孝(院12期)	
特 任 幹 事*	萩原 かおり(教授・ミュージカル分科会主査)	
	下八川 公祐(副理事長、企画広報部 部長) ※特任幹事は本学教職員の中から指名されます。	
	森川 陽一郎(入試広報室 室長)	
部 会 担 当	鍵盤楽器 / 飯田 佐恵	弦管打楽器 / 福本 信太郎
	声楽 / 藤原 海考	作曲 / 由雄 正恒
	ジャズ・ポピュラー / 森 篤史	音楽療法・アートマネジメント / 黒田 晋平
	バレエ / 山崎 理紗	舞台スタッフ / 西海 幹樹

教員の異動

新任	退任
教 授 / 沼田 英子(学芸員)	准 教 授 / 寺崎 秀臣(ミュージカル)
八木 清市(舞台スタッフ)	専任講師 / 岸本 智典(教職)
准 教 授 / 中尾 友彰(アートマネジメント)	助 手 / 宍戸 未来(舞台スタッフ)
専任講師 / 原 圭寛(教職)	
助 手 / 高 翔麟(音楽学)	
訃 報	慎んでご冥福をお祈りいたします
名誉教授 / 桐生 郁子(2022年11月7日逝去)	客員教授 / 桑田 歩(2023年4月5日逝去)

株式会社プレリューディオ

昭和音楽大学・同短期大学部におけるキャリア支援を実践する音楽企画制作会社です。若手アーティストの演奏活動を支援するため様々な主催公演を実施し、たくさんの方の卒業生が出演しています。2023年7月からはアートマネジメントコース卒業生の黒田晋平が代表取締役役に就任し新たなスタートを切りました。皆さま方のご支援、よろしくお願い申し上げます。同侪会は(株)プレリューディオに出資しています。

<https://www.preludio.co.jp>

プレリューディオ

検索



発行 / 昭和音楽大学同侪会
お問合せ / 昭和音楽大学同侪会本部
〒215-8558 神奈川県川崎市麻生区上麻生1-11-1
TEL 044-953-9862
[E-mail] dourei@tosei-showa-music.ac.jp

2023年9月発行

【個人情報保護に関する基本方針】

- 昭和音楽大学同侪会本部では、会員の個人情報として、「氏名」「住所」「電話番号」「卒業年」などのデータをコンピュータで管理しています。これらの個人情報は、終身会費などの管理、会報等の送付や同侪会の支部活動及び、昭和音楽大学の活動の目的で使用しています。
- 会員の個人情報は、入学時点の入会手続きの情報をもとに登録しています。当該情報の第三者への開示を望まない場合(「公開不可」)は、住所変更の手続きに準じて、その旨を事務局まで書面(FAX及び電子メールを含む)にて届け出てください。届出のない場合は、原則として「公開可」とみなします。
- 個人情報の照会、書面(FAX及び電子メールを含む)をもって申請されたものに限り、被照会者の同意を確認した上で回答します。
- 卒業生の個人情報は、情報集約のために、大学と同侪会が共同利用します。

同侪会の情報は下記ウェブサイトでご覧いただけます。
<https://www.tosei-showa-music.ac.jp/graduation/dourekai.html>

同侪会 Facebook | 昭和音大同侪会本部 | 検索



同侪会会報

No. 38
NEWS 2023



発行:昭和音楽大学同侪会 〒215-8558 神奈川県川崎市麻生区上麻生1-11-1 TEL 044-953-9862
<https://www.tosei-showa-music.ac.jp/graduation/dourekai.html> | [\[E-mail\] dourei@tosei-showa-music.ac.jp](mailto:dourei@tosei-showa-music.ac.jp)



ルービンシュタイン国際ピアノコンクール第3位
黒木雪音さん

ロッシーニ・オペラ・フェスティバルに出演
杉山沙織さん



神奈川ウインドアンサンブル
第1回定期演奏会を開催
代表 岩佐龍之介さん

ご挨拶

数年に及んだコロナ禍が明けて様々な制約が解かれ、社会はかつての日常を取り戻してきました。川崎・しんゆり芸術祭「アルテリッカしんゆり」での本部主催公演も、今春はクラシック、ミュージカル(昼夜2公演)、ジャズ・ポピュラーライブ全4公演の入場制限を大幅に緩和して開催しましたし、各支部もそれぞれの活動を本格化してきており、大変喜ばしく思っております。直近では8月26日に鹿児島県支部、9月6日に岩手県支部がコンサートを開催し、聴衆の皆さまとともに素敵な時間を過ごしました。新たに発足した埼玉県支部は、山館冬樹支部長を中心に発足記念イベントの企画制作を鋭意進行中です。

母校も以前にも勝る勢いで活気を帯びています。学生会主催の昭和音大祭は今秋3年振りに通常開催の運びとなり、2024年度に新設される「声とこぼの創造表現コース」は、声楽教育に歴史ある母校の本領を発揮しつつ、今の社会に求められる多様性に富んだカリキュラムが目

を集めています。また、2027年度に開設予定の「芸術工学部」は、音楽・芸術分野の進化に応じた新たなデジタルコンテンツをもたらすことが期待されています。

今年5月に厚生労働省が公表した2020年の市区町村別生命表により、川崎市麻生区は男女ともに長寿日本一と報じられました。麻生区の自然豊かな環境や、文化・芸術活動が盛んな地域性が奏功しており、同区に構える母校も貢献している、という嬉しい報道でした。これからも母校と連携して地域の環境醸成にも寄与していければと願っております。

皆さま、我々の財産である音楽とともに、健やかで豊かな人生を歩んでいきたいものです。

第三代同侪会会長
八尋 久仁代 Yahiro Kuniyo



社会にコミットする 音楽大学へ進化を

特別
対談

副理事長 下八川 公祐

八尋 久仁代 同侪会会長



下八川 公祐 Shimoyakawa Kimihiro

平成11年東成学園に入職。企画広報部門を中心に業務を行う。音楽大学が社会に積極的な役割を果たすために、サウンドプロデュースコース、ポピュラー音楽コース、音楽と社会コース等の設置、また、川崎市麻生区へのキャンパス移転を推進、博士後期課程の認可申請などに携わる。平成18年昭和音楽大学附属ピアノアートアカデミーを設置し、アカデミックな音楽教育の実現を目指す。また、20年ほど前から韓国総合芸術学校（Kアーツ）、上海音楽芸術学校等と関係を構築し、現在の国際交流の基礎を作る。平成30年東成学園評議員就任、令和2年東成学園常務理事就任、令和4年より東成学園副理事長に就任する。

東成学園のフィロソフィと 理事長の言葉から得たマインド

八尋：東成学園副理事長ご就任、おめでとうございます。これまでも同侪会の特任幹事として私どもの活動にお力添えをいただいております。感謝しております。また大学の様々な事業で陣頭指揮をとってこられ、大学の向上と推進に貢献されていることも存じております。

下八川：私は25年ほど前に大学職員として入職しました。オペラが大好きで、大学卒業後は1年半ほどイタリアに渡り、たくさんのオペラ鑑賞をして帰国した直後に、父（下八川共祐理事長）が制作を手がけた藤原歌劇団のオペラ『マクベス』を観る機会がありました。前年の12月にミラノのスカラ座で『マクベス』を観ていましたが、「藤原」の素晴らしい舞台に心から感動しました。父は音楽をどう捉えているのだろうと思い、「どんな音楽がよい音楽だと思うのか」と尋ねました。すると「（聴いた人が）泣けるかどうかだと自分は思う」という答えが返ってきました。とてもシンプルな言葉です。この一言が、芸術や教育に対する私の価値観となっています。

八尋：日頃より、副理事長は多彩なアイデアをお持ちの方だと思っておりました。そのベースには、理事長のお言葉があったのです。素敵なお話です。私も演奏会や舞台公演などでは聴衆の皆さまに感動をお届けできるか、癒しを感じてくださるかということを大事にしています。

下八川：表現したり、伝えたりしようとする学生たちの意欲や意思に、我々が応えることが大切だと思っています。クラシックだけでなくジャンルの隔たりを越えた教育が必要だと考え、2003年度には「サウンドプロデュースコース」、「ポピュラー音楽コース」（現：ポップ&ロックミュージックコース）を開設しました。おかげさまで現在も多くの学生が学び、社会で活躍されています。これらのコースを作る際にも、理事長の言葉からある種の勇気を得ていました。学校として大切なことは、感動を分かち合う素材や意志が教育の中にある

かどうかであり、それがずっと根底にあるように感じています。また、東京声専音楽学校も声に関わる多様で実践的な教育を行ってまいりました。それは創業者・下八川圭祐から育まれた本学のフィロソフィであると思っています。

キャンパス移転を契機に ピアノアートアカデミーを開設

下八川：その後、2007年度にキャンパスを厚木から新百合ヶ丘（川崎市麻生区）へ移転することとなった際、いわゆる大義名分を理事長に尋ねました。「学生が時間を気にせず都心の演奏会を聴けるようにしたい」という言葉を伺って、深く共感しました。その言葉どおり、理事長は劇場施設の整備からレッスン室の吸音の状況を熱心に追求していました。時期を同じくして江口文子教授（現：副学長）を迎えて「ピアノアートアカデミー」の創設に関わりました。このアカデミーからはすでに国内外で活躍するピアニストが多く輩出されています。

八尋：2011年、私が同侪会会長に就任した年ですが、後藤正孝さんがフランス・リスト国際ピアノコンクールで第1位となられた際の印象は鮮烈なものでした。2022年にはダブリン国際ピアノコンクールで本邦初の第1位、第2位を黒木雪音さんと古海行子さんがそれぞれ受賞されました。弦・管・打楽器コースでは、今春卒業した岩佐龍之介さんが4年次在学中に45人のメンバーとプロの吹奏楽団を創設しました。また、メゾ・ソプラノの杉山沙織さんが大勢の候補者の中から選ばれてロッシーニ・オペラ・フェスティバルに出演するなど、本学から次々と優秀な方が育って

伝統の継承と進化を両立させて
大学の存在意義を高めて
いきたいですね



るのを嬉しく、そして誇らしく思っております。

下八川：来年度（2024年度）からは大学・短大に「声とことばの創造表現コース」を新設します。これまで我々は音楽として歌や声をとらえていました。このコースでは表現活動の重要な要素として言葉をとらえていきます。音楽分野をはじめ、声優、ナレーター、アナウンサーといった、エンターテインメントや放送業界など多方面での活躍が期待されます。

八尋：学んだ専門性が仕事や生活につながっていくのは素晴らしいことですね。学生の技術と豊かな発想が社会生活に直接的に結びつくことは、本当に大切です。

下八川：Z世代と呼ばれる今の学生は、何をしたら人のためになるのかという、社会へのアクセスに鋭い感覚と意志もっているように感じています。ですから、歌うことが好きというところから入学して、学んでいく営みとともにそれぞれの将来像を具体化していきます。学修を重ねながら将来どのような仕事をするのか決めていく方が自然なのではないかと思えます。

八尋：おっしゃるとおりです。声帯も年齢によって変化していきますので、大学1、2年生では進路に幅をもたせ、3、4年生になってから専攻を選べるのはいいことだと思います。より興味と確信をもって学べるのではないのでしょうか。

下八川：コロナ禍では声を出して表現することが大きく制限されました。しかしそれは人の心や音楽にとって最も大切なことですから、私たちがしっかり再構築していかなければなりません。新しいコースには、そうした強い想いも込められています。

卒業後の未来が明るくなるように
皆さまのお役に立ちたいと
思います



さらなる進化を見据えた新学部 そして新しい未来へ

八尋：私も同侪会では卒業生同士のネットワークを強化すると共に、卒業後の活動への道筋を作り、卒業生のお役に立ちたいと考えております。ただ、音楽芸術を取り巻く情勢は日に日に変化しており、スタイルもテクノロジーも多様化しております。AI音楽の台頭も否めません。そのような多様性をうまく取り入れるような発想が必要になってくるのではないかと思います。

下八川：それは今、まさに話題となっているところですね。大学の最大のミッションは、学生が彼らの将来像をつかむ助けをすることだと思います。そのために、いかに社会にコミットするかを具現化していくことが重要です。そのトピックの一つが「国連大学SDG大学連携プラットフォーム」への加入です。これは国内の大学の連携を強化して国際社会における日本の大学の存在感を高め、持続可能な社会の実現に貢献することをめざすもので、昭和音大が社会にコミットメントした教育を実践していることが評価されて加入要請をいただきました。SDGsは学生たちの関心も高いテーマであり、芸術系大学が加わることの必要性も鑑みて参画しました。また、2027年度には新たに「芸術工学部」（文部科学省「大学・高専機能強化支援事業」採択）を設置する予定です。この学部では、プログラミング言語を学んでコンテンツ作りに活かす分野と、コンテンツを社会化するビジネス構想の2分野が学べます。これまで私たちが考えてきたことを、この新学部で実現していきたいと考えています。

八尋：こうして新たな未来を開くお話が伺え、大変嬉しく思います。新しい学部にも大いに期待しております。同侪会は今後も大学と連携しながら、これから芽を出そうとしている方、地方でキャリアを積む方、また一般企業に就職された方たちとのつながりを深め、卒業生の皆さまを応援するために、実りある活動を展開してまいりたいと思います。



八尋 久仁代 Yahiro Kuniyo

昭和音楽短期大学および専攻科、二期会オペラ研究所を経て渡米。コロラド大学（University of Colorado）にて音楽学士号、同大学院にて音楽修士号、音楽芸術博士号を取得。博士（音楽芸術）。米国を拠点に演奏・研究活動に取り組む傍ら、プルデンシャル機構をはじめ日米文化交流事業の招聘講師としても活躍。エステル・ボイス・トレーニング方式やトリニティ・カレッジ・ロンドンの音楽教育方式にも精通。訳書に「歌唱の仕組み」（共訳：音楽之友社）。日本音声言語医学会、NATS（米国音楽教育界）正会員。学校法人東成学園理事・評議員、昭和音楽大学講師。2011年より第3代同侪会会長を務める。

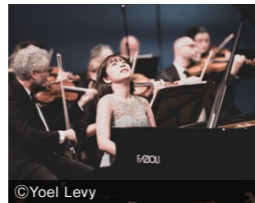
世界で羽ばたく卒業生たち

ルービンシュタイン国際ピアノコンクール第3位、
東京・仙台の2都市でピアノ・リサイタル



リサイタル・東京公演より（紀尾井ホール）

2023年3月、第17回アルトゥール・ルービンシュタイン国際ピアノコンクールで第3位を受賞した黒木さんが、5月12日／紀尾井ホール、同19日／宮城野区文化センターパトナホールでリサイタルを行いました。両日も多くのお客様にご来場いただき、黒木さんがリストの美しい曲の数々を奏でると万雷の拍手が起き、東京公演を鑑賞していた八尋会長も卒業生の活躍にエールを送りました。



© Yoel Levy

ルービンシュタイン国際ピアノコンクールより

黒木 雪音さん

大学院修士課程（ピアノ）修了／千葉県出身
昭和音楽大学附属ピアノアートアカデミー所属

「ルービンシュタインコンクールは子どものころ憧れていたコンクールだったので、第3位に入賞できたのはとてもうれしく思っています。東京、仙台でのリサイタルでは多くのお客さまに来場いただきありがとうございました。今後も皆さまに「いい演奏をお届けしたい」気持ちを忘れずに日々努力して参りますので、よろしくお願ひ申し上げます」

札幌文化芸術劇場「hitaru オペラプロジェクト」に 本学卒業生7名が出演



Hitaruオペラプロジェクト第1回公演『フィガロの結婚』 提供：札幌文化芸術劇場 hitaru, ©kenzo kosuge

札幌文化芸術劇場では、地元のオペラ団体、教育機関、実演芸術家などの協力を得て、オペラ作品を創造・発信する「hitaruオペラプロジェクト」がスタートしました。記念すべき第1回は『フィガロの結婚』（2023年2月26日～28日）。そのキャストに本学卒業生がオーディションで多数選出され、地元の芸術活動に大きく貢献しました。



倉本 絵里さん 大学 声楽コース卒業（オペラ）修了 演奏家
小平 明子さん 大学 声楽コース卒業 札幌オペラシンガーズ
西海 綾香さん 大学院修士課程（オペラ）修了 藤原歌劇団準団員
三輪 主恭さん 大学 声楽コース卒業 バス・バリトン歌手
吉田 叶倫さん 大学院修士課程（オペラ）修了 藤原歌劇団準団員



石岡 幸恵さん

大学 声楽コース卒業／北海道出身
昭和音楽大学講師、藤原歌劇団正団員

「オペラ公演には地元への感謝の気持ちで出演いたしました。日頃から私の音楽活動を支えてくれている北海道の家族に、この公演を楽しんでもらえたことがなにより喜びです。今後も支援者の皆さまと地元への感謝の気持ちを忘れず、演奏家活動ならびに後進の指導に邁進していきたいと思います」



倉岡 陽都美さん

大学 声楽コース卒業／北海道出身
札幌大谷大学講師、藤原歌劇団正団員

「本公演では昭和音大卒業生が大活躍し、劇場でも話題になっていました。大学でイタリアオペラを学んだ経験は一生の財産となっております。下八川理事長はじめ、折江忠道客員教授、鈴木とも恵准教授にご観劇およびご声援頂けましたこともとても嬉しく、心強い思いでした。今後も、昭和音大卒業生としてオペラ界に貢献できる様、精進して参ります」

本学主催の文化庁委託事業「次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」において、ロッシーニ・オペラ・フェスティバル総裁であるエルネスト・パラソ氏のマスタークラスから、杉山さんが参加者に選出されました。2023年8月にイタリア・ペーザロで行われた同フェスティバルのオペラ『ランスへの旅』出演は、世界の歌劇場にデビューする大きな一歩となりました。また文化庁派遣の海外研修員にも選ばれ、今後2年間、イタリアで研鑽を積むことも決定しています。

杉山 沙織さん

大学院修士課程（オペラ）修了／新潟県出身
新国立劇場オペラ研修所第23期生

「8月18日に無事イタリア公演が終了しました。当日は鈴木とも恵准教授も劇場に駆けつけてくださりラックスして本番に臨めました。今回、イタリアでの演奏の機会を与えてくださった皆さまに感謝申し上げます。今後も世界で通用するオペラ歌手をめざしていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひ申し上げます」



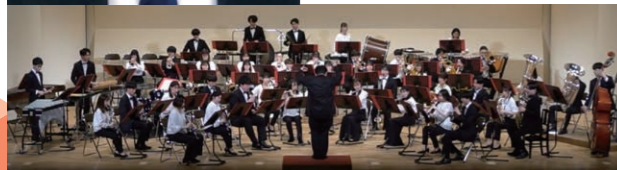
世紀のテノールファン・ディエゴ・フロレスと



フェスティバル参加者たちと

ロッシーニ・オペラ・フェスティバルに出演

神奈川ウインドアンサンブル 第1回定期演奏会を開催



2022年に本学在学学生・卒業生によって結成された神奈川ウインドアンサンブルが、3月に川崎市麻生市民館で第1回定期演奏会を開催しました。発起人であり、代表を務める岩佐さんは「進路を考えた時、プロの吹奏楽団はほとんどないのが現状です。それなら自分たちでプロ団体を作ろうと決意した」と語り、約1年半の準備期間を経て「名曲とともに贈る華やかな幕開け」と銘打った公演は、45名のメンバーによるフレッシュでパワフルな演奏が披露されました。

岩佐 龍之介さん

大学 弦・管・打楽器コース（トロンボーン）卒業
昭和音楽大学オーケストラ研究員

「日本各地から大学へと集った我々ではありますが、音楽家としての研鑽や成長を育んでくれた神奈川という素晴らしい地域に少しでも学んだことを還元できればとの想いで、神奈川ウインドアンサンブルと名付けました。音楽文化、吹奏楽文化の発展に貢献できるよう活動していきますので、ご声援よろしくお願ひ申し上げます」

劇場で芸術振興に従事、
4月より本学准教授に就任



中尾 友彰さん

大学 アートマネジメントコース卒業／神奈川県出身
昭和音楽大学准教授

「大変光栄なご縁をいただき、母校の教員として着任いたしました。私は劇場の音楽企画専門職として24年の経験を積み、その中で「アートマネジメントは、自分の人生を賭けて取り組むだけの価値ある仕事」と確信いたしました。今後は学生の皆さまへこの想いをお伝えし、夢と才能を育む教育に情熱を注いでまいります。よろしくお願ひ申し上げます」

Profile

卒業後、(公財)長岡市芸術文化振興財団勤務。その後、(公財)新潟市芸術文化振興財団に渡り、りゅうとびあ新潟市民芸術文化会館において、数々の演奏会等の企画制作を手掛ける。2023年4月、アートマネジメントコース卒業生初の昭和音楽大学准教授に就任。

湯之前 学さん

大学 弦・管・打楽器コース（トランペット）卒業／鹿児島県出身
鹿児島県出水市立米ノ津中学校校長、同協会鹿児島県支部長

「大学4期生です。故郷鹿児島県の教員に採用され約30年が経ちました。教員時代は、音楽家を育成し、教育行政では幼小中高等学校の音楽教員に指導することにより人脈が広がったことが私の強みとなりました。また、支部では「学生と卒業生のコンサート」を開催し、後進の育成に関われることは本当に嬉しく、大学、同協会本部に感謝しております」

Profile

卒業後、公立中学校で音楽教諭、吹奏楽部顧問として教鞭を執る。教育行政に異動後は、県教育庁主任指導主事や教育センター教職研修係長兼音楽担当指導主事として、各学校で音楽教育指導等を行う。現在、鹿児島県出水市立米ノ津中学校校長、同協会鹿児島県支部長。



教育の現場から行政まで
幅広い活動で地域に貢献

ご挨拶



2023年度より 大学・短期大学部 副学長 に就任

江口 文子 Eguchi Fumiko

現在、昭和音楽大学は大きな転換期を迎えております。変化の激しい社会において「どう向き合うか」、「どう変化するのか」を見極めていく力が必要となっています。声とことばの創造表現コースの設置や新学科構想などは、新たな未来に向けた取り組みの一つとなります。副学長を拝命するにあたり、本学の建学の精神である「礼・節・技の人間教育」の意味を今一度心に刻み、皆さまとともに取り組み、進みたいと思います。母校を愛し、活気あふれる同侪会の皆さまのエネルギーが私は大好きです。新しい昭和音楽大学のスタートにその力をお借りしたく、引き続きご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

Profile

桐朋学園大学ピアノ科2年在学時に渡欧。パリを中心に各地でリサイタル、室内楽、オーケストラ共演、伴奏等で活動。国際的に活躍する数多くのピアニストを育て、また幅広い音楽普及啓蒙活動を行っている。昭和音楽大学附属音楽・バレエ教室室長、同附属ピアノ・アートアカデミー主任教授。昭和音楽大学鍵盤楽器部会主任、東成学園評議員。(社)全日本ピアノ指導者協会理事。



2023年度より 短期大学部 音楽科長 に就任

三ツ堀 清志 Mitsubori Kiyoshi

今年4月より短期大学部音楽科長に就任いたしました。教職課程を担当しております三ツ堀清志と申します。本学へは令和2年4月からお世話になっております。新型コロナウイルスの影響で、初回から慣れないオンライン授業からスタートし、戸惑いがございましたが、無事に乗り切り、今は学生の皆さんと楽しく授業をしております。まだ学園について分からないことが多く、ご迷惑をおかけしておりますが、学生・卒業生の皆さまのために誠心誠意努力してまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

Profile

神奈川県立高等学校教諭、神奈川県教育委員会教育局指導部高校教育課指導主事、神奈川県立高等学校総括教諭及び神奈川県立高等学校教頭を経て現職。音楽科教諭として合唱を長年指導し、神奈川県高等学校文化連盟合唱専門部事務局長及び理事を歴任。昭和音楽大学学生生活委員会委員長、資格課程分科会主査。日本特別活動学会会員、日本音楽教育学会会員、日本学校教育学会会員。

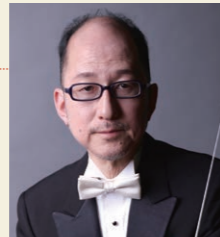
TOPICS

埼玉県支部 発足!

昭和音楽大学同侪会埼玉県支部が2023年1月に発足されました。同侪会は埼玉県出身の卒業生皆様の活躍をサポートすべく全力で取り組んでまいりますので、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

- 卒業生の活躍の場を広げる活動を行う。
- 演奏会他、埼玉県特有の県民性を活かしたイベントで地域との交流を含めた活動を行う。
- 将来の母校入学者増員に繋がるような活動を行う。

支部長 山舘 冬樹
(同侪会幹事・昭和音楽大学客員教授)



副支部長 阿瀬見 貴光 光岡 暁恵
会 計 堀内 成美
庶 務 堀内 喜笑 小山 麻里
高本 聖都 橋本 慧
平賀 僚太 山極 明

埼玉県支部では発足記念演奏会(2024年予定)を準備中です。演奏会開催に向けて、演奏会出演者および運営に協力して下さる方、またご意見などを募集しています。

〈お問合せ〉 saitamasibu2023@gmail.com



2024年度、 大学・短大に新設 声とことばの 創造表現コース

新しい形の「声」と「ことば」を中心とした教育およびバラエティ豊かなカリキュラムにより、音楽分野はもちろん、エンターテインメント、放送業界など多方面で活躍できるスペシャリストをめざします。

2027年度、大学に学部新設 芸術工学部

文部科学省「大学・高専機能強化支援事業」の公募において、昭和音楽大学の新学部が選定されました。デジタルエンタテインメントコース、デジタルコンテンツ構想コースを設置し、音楽や芸術文化の進化に応じた国際的水準のプログラマーや、新たなコンテンツの社会実装に寄与できる人材を育成します。

▶ 本部主催公演 REPORT

2023若きアーティストたちの響演 ~昭和音楽大学同侪会とともに~

2023年4月8日(土)
昭和音楽大学ユリホール

アルテリッカしんゆりブレ公演



昭和音楽大学、同大学院および昭和音楽大学短期大学部を2023年3月に卒業・修了した中から将来を嘱望される優秀な演奏家として選ばれたアーティスト達によるコンサートが開催されました。当日は12名による華やかな演奏が披露され、お越しいただいた約200名の来場者たちからは、「素敵演奏会でした」、「聴いてワクワクしました」等々、温かい言葉をいただきました。

2023若きアーティストたちの響演 ミュージカル・スプリング・ライブ ~昭和音楽大学同侪会とともに~

2023年4月9日(日)
昭和音楽大学スタジオ・リリエ

アルテリッカしんゆりブレ公演



多くの卒業生が様々な舞台上で活躍しているミュージカルコース。その卒業生達による歌とダンスに溢れた楽しいライブコンサートが開催されました。コロナ禍による入場制限も今年は緩和、昼夜合わせて約260名のお客様に来場いただきました。ステージいっぱいになり、万雷の拍手の中で終演を迎えることができました。

2023若きアーティストたちの響演 ジャズ&ポピュラーライブ ~昭和音楽大学同侪会とともに~

2023年4月16日(日)
新百合トウェンティワンホール

アルテリッカしんゆりブレ公演



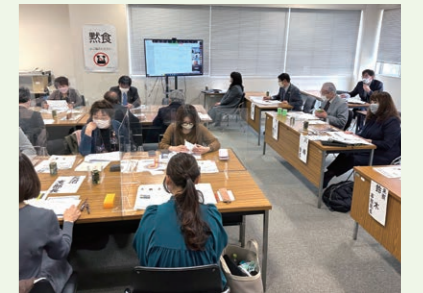
昭和音楽大学および昭和音楽大学短期大学部のジャズコース、ポピュラー音楽コース*を卒業し、将来を嘱望される優秀なミュージシャンとして選ばれたメンバーによるコンサートが開催されました。留学生による演奏、ツインドラムなど、例年を超えた個性豊かな卒業生たちの演奏が披露され、今春入学した学生からは、「いつか私もあのステージに立ちたい!!」と感激していたのが印象的なライブでした。

※2023年度よりポップ&ロックミュージックコースに名称変更

本部・支部総合連絡会 REPORT

2023年3月21日(火・祝) 昭和音楽大学南校舎

当日は、19支部1部会、計21名(うち、リモート出席3名)の役員が出席して、各支部等の活動報告がされました。参加者は昨今のコロナ禍でも創意工夫して演奏会、研修会を開催した支部部会の報告に興味深く聞いており、2023年度活動の参考になりたいとの意見が出ていました。また下八川副理事長から、「東成学園のありかた」の講話もあり、学園を取り巻く環境、学園の近未来像など、大変有意義で貴重な話を伺うことができました。



NEWS!

周年記念動画アップ

昭和音楽大学同侪会が、東成学園80周年・同侪会50周年記念として、YouTube動画2本をアップしました。「東成学園の軌跡」と題し、理事長・先生方のインタビューを中心に懐かしい写真なども織り込まれています。是非ご覧ください。



アートマネジメントコース 30周年



サントリーホールでの実習風景(2001年)

アートマネジメントコースは、2023(令和5)年で30周年を迎えました。日本の大学で最初に開設された同コースは今後も音楽舞台芸術に優れた人材を輩出していきます。(30周年記念行事を計画中です。詳細が決定期、ウェブサイト等でご案内します)

イタリアンレストラン mira-forestaオープン

キャンパス内のイタリアンレストランは、8月下旬に「mira-foresta(ミラ・フォレスト)」としてリニューアルオープンしました。ランチ、ディナーのほか、パーティにもご利用いただけます。本学にお越しの際はどうぞ新しいメニューをお楽しみください。



部会・各エリアからのメッセージ

全国 34支部
会員数20,000名の
卒業生ネットワーク!

教職部会



●**昭和音大出身の音楽科教員のために**
教職部会は、2010年に発足した教職課程履修卒業生による研究会です。年に一度、研究会を開催しています。例年、実際に現場でご活躍されている先生方に模擬授業や講義をしていただいています。また、現役の小・中・高や特別支援学校の先生をはじめ、教職に興味のある方、学生などにご参加いただき、授業の工夫や教材のアイデアなど、様々な意見交換を行っています。教職部会では、昭和音大出身というつながりを大切にし、音楽科教員の役に立てるようにと考えてながら日々活動しています。教職部会への入会も、随時募集しています。詳しくはFacebook又は、メールにてお問合わせください。

連絡先:教職部会会長) 中島 健太
〒215-8558 神奈川県川崎市麻生区上麻生1-11-1
(大学内 同協会教職部会事務局)
TEL 044-953-1121 (教職課程研究室)
✉ [入会専用] kyoushokubukai.project.team@gmail.com
[お問合せ専用] showa.kyoushoku@gmail.com

音楽療法部会

●**研究会を開催中**
—オンラインと対面参加のハイブリッド型です!

同協会音楽療法部会は、神奈川県川崎市を拠点とし、音楽療法をはじめ、医療、教育、福祉やその関連領域で主に音楽を使用した活動に携わる卒業生を中心に活動中です。

音楽療法コースの新卒生から東京専卒業の方まで、専攻にかかわらず幅広い年代の方が参加しています。毎年3回開催する研究会は、対面参加とオンラインのハイブリッド型です。日本中さらには海外からでもご参加いただけます。日本音楽療法学会認定講習会として開催し、広く一般の方にも開いています。

●**ご連絡**
本年度の研究会は、5月(終了)、10月、2月の開催です。詳しくはウェブサイト
<https://mt-dourei.jimdosite.com/>
をご覧の上、専用メールアドレス
dourei.mt@gmail.com
までお問い合わせください。
※大学代表宛のお問合せはご遠慮くださいますようお願いいたします。

連絡先:音楽療法部会会長) 三浦 優佳
〒215-8558 神奈川県川崎市麻生区上麻生1-11-1
FAX 044-953-1311
(大学内 昭和音楽大学同協会音楽療法部会)
✉ dourei.mt@gmail.com (大山、三浦宛)
Web <https://mt-dourei.jimdosite.com/>

アートマネジメント部会

●**30期生が入学しました!**

1994年に日本で初めての専門コースとして設立されたアートマネジメントコースは今年で30年目となりました。設立当時、日本では知られていなかった「アートマネジメント」は今や舞台芸術界の職業として定着しています。これまでに巣立った卒業生は約560名。それぞれが今までの学びを活かして全国の劇場や舞台芸術団体等、アートマネジメントの現場で活躍しています。

★30周年イベントを企画中です。情報を配信しますので、ぜひメールアドレスをご登録下さい。★★

●**同僚会員の皆さまへ**

卒業生の「勉強会や情報交換をしたい」という思いから発足した本部会では、今後も更なるネットワークの確立と、充実した情報交換の場の提供を目指して活動して参ります。コース卒業生、在校生にお知らせしたい情報などがございましたら、お気軽にご連絡下さい。(メールを登録されている方へお知らせいたします)

アートマネジメント部会会長) 中村 如子

連絡先) 武内 南津子
〒215-8558 神奈川県川崎市麻生区上麻生1-11-1
FAX 044-953-1311
(大学内 昭和音楽大学同協会アートマネジメント部会)
✉ am-dourei@tosei-showa-music.ac.jp

札幌支部

札幌は昨年度もコロナ感染拡大に悩まされ、演奏会や交流会を開催する事が出来ませんでした。しかし、今年度で発足40周年を迎えます。来年度内に記念演奏会を行いたいという願い、準備に取り掛かるところです。現在演奏活動中の会員の出演、大学からもゲストを迎える予定です。活動を休止していた期間が長い分、充実したステージにしたいと役員一同、意気込んでおります。

支部長) 高橋 雅子

旭川支部

約3年間のコロナ禍も今年に入り少しずつ緩和され、世の中全体が元の生活に戻つつです。旭川支部はここ数年はほとんど活動が停止していましたが、4月総会を開催し今年度の活動を話し合い、コンサートにおけるマナーと子供向けのコンサートと題しまして、検討いたしました。開催時期を含めこれから話し合いを重ね、会員同志の親睦を計りながら開催実現に向けて前向きに検討している所存です。

支部長) 伴 美由紀

帯広支部

今年度の主な活動は、令和6年2月2日(金)に、とかちプラザレインボーホールにてミニコンサートを企画しております。帯広支部は、ありがたいことに地域の方々のご厚意から演奏施設利用提供等のバックアップを頂いており、実際にホールを利用した勉強会を行う事が出来ております。今後も少ない会員数ではございますが、地域と密着し充実した同協会活動を行っていきけるよう努力いたします。

同協会帯広支部コンサート「春を呼ぶコンサート」(仮)
令和6年2月2日(金)18:30開演 とかちプラザレインボーホール

支部長) 松隈 準

室蘭支部

今年度は7月にコロナになって以降初めて集まることになり、会員一同久しぶりに会えることを楽しみにしております。活動としては、勉強会やコンサート鑑賞など出来ることを話し合いまた再開していきたいと思っております。少人数ですが、和気あいあいと続けていければと思いますので、活動に参加して頂ける方は、どうぞご連絡お願い致します。

支部長) 佐土 紀久子

苫小牧支部

長く活動休止の状態でしたが、活動再開を目指して模索中です。本部からご提案を頂いたオンラインレッスンの講座開催等、ご興味を持って頂けそうな内容を検討しております。支部会員の皆様には、決定次第、登録住所に連絡を差し上げる予定ですが、こちらでも連絡をお待ちしております。宜しくお願い致します。

支部長) 鈴木 加菜子

函館支部

コロナ禍の間に活動が縮小してしまいましたが、今年度は総会など徐々に活動を再開していきたいと考えております。そんななか、函館出身者から演奏会の報告をいただきうれしく思っております。12月には函館出身である小田桐貴樹先生のコンサートが函館市民会館小ホールにて行われる予定です。ぜひ足をお運びください。今年度は7月に卒業生の新人演奏会出演もございました。他支部との連携も視野に、少しずつ活動を盛り上げていきたいと考えておりますので函館支部へのご参加お待ちしております。

支部長) 門間 菜裕子

岩手県支部

今年度は9月6日に盛岡市民文化ホールで支部コンサートを開催します。会員5名とゲストの演奏です。ゲストは岩手県出身の小野寺光さんです。その他にも慰問演奏も続いています。今後、活動の幅を広げていきたいと思っています。皆様の参加を心よりお待ちしております。音楽から離れていても大丈夫ですのでお気軽にご連絡をお願いいたします。

支部長) 藤田 亜希

群馬県支部

群馬県支部では今年度より、自粛していた活動を再開することになりました。勉強会や演奏会等の計画開催を予定しています。会員の皆様の積極的な参加をお待ちしております。これに際し、一緒に運営・活動していただける方を大募集しています。現役員は明るく楽しく無理なく活動していますので、どうぞお気軽にお問い合わせください。よろしくお祈りいたします。

支部長) 竹松 彩乃

宮城県支部

長かった行動制限や感染対策の日々も徐々に穏やかになり、ようやく僅かではありますが日常生活を取り戻してきたように感じています。まだまだ油断はできませんが、宮城県支部では少しずつ活動を再開していくことにいたしました。つきましては総会や演奏会の開催等のご案内を秋頃にお送りする予定です。たくさんの方の皆様にお会いできますことを楽しみにしております。

支部長) 奈良 安希子

栃木県支部

2022年8/21(日)県南、県北の2か所に分け「エリア別親睦会」を行いました。2023年2/11(土)資格を持つ会員講師による「音脳 声ミックス&リトミック体験講座」を行いました。2023年6/11(日)芳賀郡出身の会員による「ブライトハーモニーコンサート vol.2」を真岡いちごホールで行いました。今後さらに沢山の会員様に楽しい企画で参加して頂きたいと願っています。

支部長) 柳田 明美

千葉県支部

昨年9月11日に浦安音楽ホールにて「MUSIC-HIBA vol.5」を開催し、支部会員の演奏は勿論、ゲストに黒木雪音さん(千葉県支部会員)にも出演していただきました。今年度9月17日に音楽療法講座を、またリサイタルシリーズとして千葉県に由来のある本学教員によるサンコンサート(8月11日中畑有美子先生、11月18日尾崎有飛先生)を企画しています。ぜひ千葉県支部と一緒に盛り立てましょう!

支部長) 米倉 暁彦
副支部長) 竹下 喜子、廣田 美穂

茨城県支部

2024年1月21日に、ひたちなか市文化会館にて演奏会を行います。支部として久々の演奏会と言う事もあり、沢山の方に出演して頂く予定となっております。是非、お越し下さい。また、支部では茨城県出身や在住の会員の活動を応援しています。こんな活動がしたい、あんな企画をやってみたいなど、アイデアやご意見があれば事務局までお問い合わせ下さい。

支部長) 坂口 大介

諏訪支部



第15回演奏会
2023年4月9日(日)

諏訪支部は、本年4月9日に第15回演奏会と第6回総会を開催。ピアノ、声楽、フルート、マリンバ、トロンボーン、チューバなど、15名の出演者が素晴らしい演奏を披露し、最後の「信濃の国」では会場全体が華やかな合唱となりご来場頂いた大勢のお客様に喜んで頂きました。毎月第3木曜日に例会をしています同窓生の繋がりを大切に活動して下さる方、ご連絡お待ちしております。

支部長) 堀内富美子

石川県支部

年に一度演奏会を開催しており、今年度は第32回支部演奏会を9月10日(日)に催します。支部会員も仲が良く、それぞれ連絡を取りながら一緒に演奏したりお手伝いをしたりと活発に活動しています。コロナでストップしていた親睦会もそろそろ再開できたら、と思っています。新卒の方の参加が少ないので、2000年以降卒業された方、ぜひご連絡ください。

副支部長) 松田 裕子

富山県支部

なかなか活動ができていない富山県支部ですが、新たな卒業生の情報も頂いていますのでそろそろ重い腰を上げなければと思っています。現在連絡の取れる会員は呉西地区の方が多いので、活動の拠点は呉西がメインになっていますが新しい風を吹かせてくれるメンバー大歓迎です。

支部長) 金森 智子

高知県支部

高知県支部では、2019年からミニコンサートを年2回開催することを決定し順調な滑り出しの中、3回目を目前にして、コロナウイルス感染症により、無期延期となりました。昨年末3回目を開催でき、今年度も12/9、3/9に開催予定です。今春、新たな活動会員も加わり嬉しいことです。まだまだ皆さまの参加をお待ちしております。

支部長) 宮原 みか

部会・各エリアからのメッセージ

長崎県支部

みなさん、こんにちは。長崎県内での支部活動の再開に向けて、準備をしたいと思っております。演奏可能な方、手伝いができる方、その他、講演会や勉強会のアイデアをお持ちの方はお知らせください。

支部長 >> 野田 隆博

鹿児島県支部

国内外で活躍している卒業生が、地元鹿児島で開催されるオペラやコンサートに出演し、好評を博したり、伝統のコンクールで上位入賞を果たしたり、昭和音楽大学の知名度をますます高めてきています。そこで、鹿児島県支部としても、コロナ禍で延期していた3回目となる「学生と卒業生のコンサート(発足5周年記念を含む)」を令和5年8月26日(土)会場「サンエール鹿児島」にて、開催いたしました。支部では活動に参加、お手伝いして下さる方を募集しております。

支部長 >> 湯之前 学

沖縄県支部

沖縄県支部は、現在活動らしい活動はしていませんが、ラインで講師募集などの情報交換を行っております。又、SNSで卒業生のコンサート告知の協力もさせていただいております。皆さんの活動のお手伝いできればと考えておりますので、お気軽にご連絡ください。

長野支部

支部長 >> 滝澤 千代美

その他の支部の連絡先

新潟県支部

支部長 >> 伊藤 あや

松本支部

支部長 >> 西村 美知子

※ミュージカル部会、北見、釧根、福島県、神奈川・東京エリア、福井県、静岡県、静岡県東部、浜松、関西、福岡県、熊本県の部会および各支部につきましては、本部にお問合せください。

(お問合せ) 昭和音楽大学同校友会本部 TEL 044-953-9862
E-mail dourei@tosei-showa-music.ac.jp

同校友会奨学金

昭和音楽大学同校友会海外留学・研修等海外渡航奨学金

人格、技能ともにすぐれ、将来大成が期待される者で海外留学・海外研修を希望する者に対して助成を行っています。

【令和4年度 対象者】

内藤 朱里(サクソフォン/2020年3月大学卒業)
フランス/アンリ・デュティユー 地方音楽院
寺田 祐衣(サクソフォン/2020年3月大学卒業)
フランス/アンリ・デュティユー 地方音楽院

昭和音楽大学同校友会国内研究・研修奨学金

日本国内における一定の研究・研修機関で各専門分野の更なる研究・研修活動の継続を希望する本会会員の支援目的をはかり、奨学金を助成します。

【令和4年度 対象者】

宜間 和奏(声楽/2022年3月大学卒業) 公益財団法人日本オペラ振興会オペラ歌手育成部
白砂 智子(オペラ/2022年3月大学院修了) 公益財団法人日本オペラ振興会オペラ歌手育成部
平賀 僚太(オペラ/2020年3月大学院修了) 公益財団法人日本オペラ振興会オペラ歌手育成部
杉山 沙織(オペラ/2020年3月大学院修了) 公益財団法人新国立劇場オペラ研修所

令和5年度 募集期間

国内研修奨学金 ▶ 6月5日～7月31日(今期募集終了) 海外研修奨学金 ▶ 6月5日～8月31日(今期募集終了)

学校法人東成学園 寄付金募集について

在学生の奨学事業等の充実を図る目的で、寄付金募集を行っています。本学への寄付は税額控除等、税の優遇措置を受けることができます。ご支援のほどよろしくお願ひ申し上げます。

- 寄付金の額等
一口10,000円
ぜひとも複数口のご協力をお願いいたします。
- 振込口座
三井住友銀行 厚木支店 普通 8691301
- 口座名義
学校法人東成学園 寄附金口
(ガッコウホウジントウセイガクエン キフキングチ)
- 担当部署
総務部/財務・経理課
TEL 044-953-9843

遺贈による寄付制度

本学に遺贈(遺言によるご寄付)をご希望の方に対し、遺贈に関する提携先金融機関(現在、三井住友信託銀行と提携しております)の「遺言信託業務」の機能をご提供し、遺贈によるご寄付をお手伝いさせていただきます。

① 相談・遺贈申入れ

- 本学へご相談の場合
専門的なご相談となる場合は、提携先金融機関のご相談窓口を紹介させていただきます。
昭和音楽大学事務局寄付金担当
TEL 044-953-1121

- 直接本学提携先金融機関へご相談の場合
三井住友信託銀行 新百合ヶ丘支店
TEL 0120-778-295
(受付:平日9:00～17:00/12/31～1/3を除く)
なお、居住地が離れ、ご不便な場合、お近くの全国の三井住友信託銀行の本店をご紹介いただけます。

② ご相談窓口のご紹介

- 提携金融機関の専門のスタッフが遺言・遺贈・相続に関し、ご相談をお受けします(相談料無料)。
- ご相談のうえ遺贈を含む遺言書作成となる場合は、公正証書作成手数料、遺言信託手数料等が発生します。
- 相続発生により本学へ遺贈される段階まで、提携金融機関から本学に対して、利用される方の情報が提供されることはありません。

(お問合せ)
学校法人東成学園
昭和音楽大学・昭和音楽大学短期大学
事務局寄付金担当 TEL 044-953-1121

卒業生の特典

演奏会や公開講座等は事情により変更となる可能性がありますので、詳しくはウエブサイトをご確認ください。

予約・お問合せ [当該部署につなぎます]
南校舎 TEL 044-953-1121(代)
北校舎 TEL 044-953-1230(代)

ご利用可能な施設



キャリアセンター



図書館



テアトロ・ジリオ・ショウワ



ユリホール



北校舎施設(練習室等)



附属音楽・バレエ教室



イタリア研修所施設

卒業生・在学生は、申請することで所定料金にて利用できます。利用をお考えの方はご相談ください。

(お問合せ) 総務課イタリア研修所係 TEL 044-953-1230
E-mail somu@tosei-showa-music.ac.jp

- 新百合ヶ丘校
- 小田原校
- センター北校
- 海老名校 **NEW**
- 藤沢校
- 戸塚校
- 仙台校
- 武蔵小杉校

チケット優待販売

昭和音楽大学オペラ公演2023

令和5年度文化庁大学における文化芸術推進事業

愛の妙薬

G. ドニゼッティ / 全2幕 (イタリア語歌唱/日本語字幕付)

10月7日(土)・8日(日) 14:00開演

テアトロ・ジリオ・ショウワ 指揮: ニコラ・バスコフスキ

演出: マルコ・ガンディーニ
S ¥5,500/A ¥4,500/B ¥3,500/学生 ¥1,000 (B席のみ)



大学オペラ公演2022「フィガロの結婚」

キャスト等の詳細はウェブサイトにて!



兄弟姉妹等の入学に係る学費減免制度

本学学生の兄弟姉妹、または卒業・修了者の子弟や配偶者に対し、入学金を減免します。(入学後の申請により返還)

(お問合せ)
学生生活支援室 TEL 044-953-9835

昭和音楽大学もしくは同短期大学部に在籍する者の兄弟姉妹または配偶者が大学・短大のいずれかに入学する場合

入学金全額免除

昭和音楽大学・同短期大学部・昭和音楽芸術学院(東京声専音楽学校)を卒業・修了した方の子および兄弟姉妹または配偶者が本学に入学する場合

入学金半額免除



同校友会は1割引!

[締切:9月29日(金)]
同校友会はS・A・B席を1割引で購入できます。(学生券対象外)
本人含む4名様まで受付。ぜひご来場ください。

(お問合せ)
昭和音楽大学
チケットセンター
TEL 044-953-9899
(平日10:00～18:00)

News! 大学附属機関が続々開設。

受験対策スクール Pathways

パスウェイズは、音楽大学を目指す受験生を応援するために創設したキャンパス内スクール。本学教員によるレッスンを継続的に受けることによって技術の向上を図ります。

附属ストリングスアカデミー

篠崎史紀特任教授を主任教授とし、弦楽器を始める子どもからキャリアアップを志す大人までを対象としたアカデミー。「夢があるから人生は輝く」音楽の本質を学びたい方は、ぜひトライしてみてください。

附属音楽・バレエ教室 海老名校

JR線・小田急線・相鉄線「海老名」駅より徒歩1分の立地にある「海老名ViNA GARDENS PERCH」に開校。大学と地域の教育の拠点とすることを目的としたサテライト校です。